



雨ニモマケズ、
風ニモマケズ、
台風の中でも、元
気に登校する実
習生の皆さん

9月に入り、先月までの暑さはどこへやら？連日の雨や台風の影響で肌寒さを感じる日もあり、実習生の皆さんからは、早くも「寒いです」との声が聞こえてきています。昨年のような「残暑の9月」よりは過ごし易いかもしれませんが、急激な気温の変化に体調を崩す実習生の皆さんも少なくありません。そこで、食事や睡眠時間等、健康管理を話題に会話練習をすると、「12時に寝ました」「1時に寝ました」と答える実習生が時々います。この就寝時間の遅さの理由が「勉強」なら致し方ないとも言えるのですが、ほとんどの場合が、「Wi-Fi」にアクセスしての母国に残してきた家族とのコミュニケーション。気持ちは分からないでもないのですが、時間管理や体調管理は日本で働く社会人としては、基本的なこと。これから日本の社会で「働く」実習生の皆さんにとっても、自律した生活者になることは、安全かつ円滑に技能実習を遂行する上でとても大切なことです。現在、このWi-Fiのアクセス時間・学習時間・睡眠時間のバランスの取れた生活を如何に実習生の皆さんに実践してもらえるかが大きな課題となっています。

あじけんスコープ Vol.35 ～あじけん講師ファイル～

はじめまして。小澤 康夫（おざわ やすお）と申します。きぼう国際外語学院で日本語指導に携わり、早くも7ヶ月が過ぎました。私も実習生の皆さんと同様に、東南アジアでの仕事の経験が5年間半あります。現地の事情や異文化理解等についての事前研修を受け、赴任しましたが、不安ばかりが大きく、悩んだ日々が蘇ります。無事に業務を達成できたのは、多くの現地の人達のお蔭と、感謝の念に堪えません。今度は自分が、来日される実習生のお役に立ちたいという気持ちで、先輩の先生方のご指導を受け、実習生の皆さんの日本語学習指導のお手伝いをしている状況です。

私の会社経験から、実習生の皆さんには、安全と、品質維持の重要性について理解して貰う事をいつも心掛けて授業を実施しています。その為に必要な実践的な日本語の習得を目標に、現物や写真を使い、具体的に実習生が理解出来るよう、努力しているところです。実習先で即効性のある、日常生活にも多く使える日本語を分かりやすく教えていくことを目標に、これからも工夫を重ね授業に取り組んでいきたいと思っております。

どうぞよろしくお願い致します。



今月の実習生

今月の実習生は、フィリピン人実習生 COLUMN KEVIN CONSIGNA（ケビン）さんです。ケビンさんのトレードマークは、ご覧の通りのポロシャツ。右胸に「ケビン」左胸には「夢」。そして、背中にはフィリピンと日本の国旗！あまりのインパクトの強さに、直ぐに講師陣の間でも話題となりました。話を聞いてみると、フィリピンの研修センターで日本語を勉強していた時に、卒業記念にももらった物とのこと。

ケビンさんは、日本語力も高く、しっかり者で、このポロシャツのインパクトに負けないくらい、クラスでも積極的に頑張っています。そんなケビンさんなら、日本での技能実習を通して、必ずや日比友好の架け橋として、活躍してくれることでしょう。ケビンさん、頑張ってください！



あじけん流日本語授業

グループプレゼンテーションを取り入れた発展的な学習

～私たちの国・ベトナムの文化～



ベトナムの新年の様子を説明する実習生



ベトナムの郷土料理を紹介する実習生

今月のあじ研流日本語指導は、基礎力が十分定着しており、日本語習熟度の高いクラスで行なわれた発展的な学習の様子をレポートします。授業のテーマは「私たちの国・ベトナム」。

この活動では、ベトナム人実習生の皆さんが、日本語講師の先生方に、母国の文化を紹介することをテーマとし、4～5人のグループに分れて、発表内容や掲示資料を自分たちで準備し、本校日本語講師の先生方を招いて、発表会を行いました。準備には、半日が掛かり、発表練習、発表会、その後のフィードバックの時間を含めると、1日（8時間）掛かりましたが、「自分達の国の文化を日本人の先生方に知ってもらいたい」という強いモチベーションが根底にあるため、実習生の皆さんは、集中力を切らすことなく、熱心に活動に取り組んでいました。また、発表内容を自分たちで考えたり、発表用資料を作成したりと、日頃はどうしても受動的な授業が多くなりがちなか、自分たちが主体的に活動できるとあって、生き生きと学習する姿が印象的でした。また、発表内容をビデオで撮影し、それを視聴しながら行なったフィードバックも好評でした。今後は、この活動を出身国の異なる実習生同士で、お互いの母国の文化を紹介し合うような活動に広げていけたらと考えています。

今後とも、既存のカリキュラムに囚われることなく、実習生の習熟度に応じた柔軟性、即効性のある授業実践を心掛け、限られた講習期間内で、如何に効率的に実習生の皆さんが「実践的な日本語会話力」を身に付けられるかという課題に取り組んでいきたいと思ひます。

※ 当校ホームページ <http://www.ajiken.jp/> から「あじけん通信」バックナンバーもご覧になれます

